

元号のWindowsでの対応

大阪医科大学 放射線医学 非常勤講師
(関西福祉科学大学 保健医療学部 教授)

上杉 康夫

元号について

元号（げんごう）は、日本を含むアジア東部に
おける紀年法の一つです。特定の年代に付けら
れる称号で、基本的に年を単位としますが、元号
の変更（改元）は一年の途中でも行われ、一年
未満で改元された元号もあります。日本においては
年号（ねんごう）と呼ばれることもあります。公称
としては、江戸時代まで「年号」が多く使われ、
明治時代以降は一世一元の制が定着し、「元号」
が法的用語となりました。現代では元号法が制度
の裏付けとなっています¹。

改元

天皇陛下の譲位と皇太子さまの新天皇即位に
伴い平成31年5月1日に元号を改めることが予定さ
れています。この新元号について、安倍晋三首
相は平成31年1月4日に「国民生活への影響を最
小限に抑える観点から、先立って4月1日に発表す
る」と三重県伊勢市で年頭の記者会見を行い、
表明しました²。

新元号の合字Unicode「U+32FF」

合字とは、「𐤎」「𐤍」のように、複数の文字を
一文字にまとめて表示する字のことで、元号以外
にも、「𐤎」や「𐤍」などで目にされたことがある
のではないのでしょうか³。

Unicodeの組文字では新元号のコードはすでに
「U+32FF」で確定しています。

Unicode Consortiumは2018年9月6日（米国時

間）、「The Unicode Blog: New Japanese Era」
において、2019年5月1日からの適用が予定されて
いる日本の新しい元号をサポートするため、新しい
元号記号のコードポイントとしてあらかじめ
「U+32FF」を予約したと発表しています⁴（図1）。

Unicodeでは明治から平成までの元号の合字
がすでに定められています。𐤎のコードは
「U+337B」、𐤍は「~ C」、𐤎はD、𐤍はEですが、
続く「U+337F」以後は他の合字「𐤎」等を定
めてしまったため、新元号は離れた「U+32FF」
の場所に置かれることとなりました^{3,4}（表1）。

今後の流れとしては、おそらく新元号発表→
Unicode割り当て→フォントが対応→Windows
Updateなどで対応フォントをダウンロードと
なって、個々のマシンで利用できることになると
思われます。

JISでの元号

JISでは1面13区の𐤎の878D・77点、𐤎の878E・
78点、𐤎の878F・79点と𐤎・𐤎・𐤎の合字は連続
しています。しかしながら、𐤎は877E・63点と連
続せず、少し離れた符号位置にあります⁵（表2）。
これは次のような歴史があるためです。昭和57
（1982）年に登場したNECのPC-9801⁶（図2）
シリーズは日本のパーソナル・コンピュータ市場で
圧倒的なシェアを得て独走状態になりました⁷。こ
の独走状態は平成2（1990）年のIBM DOS
J4.0/V、通称DOS/VとDOS/V上で動作する日
本語版Windows 3.0の誕生まで続きます。



図1：平成の次の元号の起動は
コードポイントU+32FFに割り当てられる予定⁴

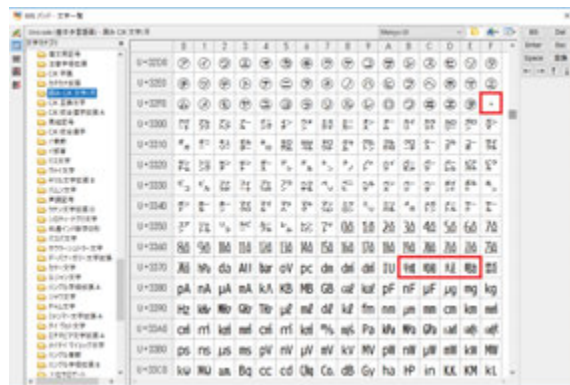


表1：元号の合字のUnicodeコード
新元号のコードは𐤎・𐤎・𐤎から離れた
「U+32FF」に予定されている³



図2：PC-9801⁶

PC-9801の強みの1つにはNECが古くから日本語環境を電子計算機で提供していたことがあります。文字集団JIS C 6226-1978 (78JISまたはJIS78、第1次規格、JIS X 0208)⁸⁹では、必要な文字が不足するとNECは判断し、JIS C 6226-1978の空き領域に、独自に文字を追加しました。この追加された文字集団はNEC特殊文字と呼ばれています¹⁰。このNEC特殊文字はメインフレームのACOS (Advanced Comprehensive Operating System)などで採用され、さらにPC-9800シリーズでも採用となり、これが今でもMicrosoft Windowsで利用されています。NEC特殊文字として合字の𛄀・𛄁・𛄂・𛄃はこのように定義されました。当然ながら、𛄃の文字は平成に改元されてからNEC特殊文字に追加されました。従って、98シリーズでも、初期の機種では表示できません。𛄃が少し離れた符号位置にあるのは平成に改元されてから追加されたためです。合字の𛄀・𛄁・𛄂・𛄃は平成2 (1990) 年10月1日に制定されたJIS X 0212 (JIS X 0212-1990)¹¹では収録されず、平成12 (2000) 年1月20日に制定されたJIS X 0213: 2000¹²に収録されました。

ところで、𛄃の符号の周囲には空きがあり、余裕のある場所に文字が置かれています。今後配慮してか、JIS X 0213でも、この文字の周辺には文字の追加をしていません。しかしながら、CP932/拡張文字を含むシフトJISでは新元号の合字対応を行わないと説明されています⁴。

面区	点	JIS	SIJS	EUC	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
1面13区	0	2D20	873F	ADA0	𛄀	𛄁	𛄂	𛄃	𛄄	𛄅	𛄆	𛄇	𛄈	𛄉	𛄊	𛄋	𛄌	𛄍	𛄎	𛄏
	16	2D30	874F	ADB0	𛄐	𛄑	𛄒	𛄓	𛄔	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI
	32	2D40	875F	ADC0	𛄖	𛄗	𛄘	𛄙	𛄚	𛄛	𛄜	𛄝	𛄞	𛄟	𛄠	𛄡	𛄢	𛄣	𛄤	𛄥
	48	2D50	876F	ADD0	𛄦	𛄧	𛄨	𛄩	𛄪	𛄫	𛄬	𛄭	𛄮	𛄯	𛄰	𛄱	𛄲	𛄳	𛄴	𛄵
	64	2D60	8780	ADE0	𛄶	𛄷	𛄸	𛄹	𛄺	𛄻	𛄼	𛄽	𛄾	𛄿	𛄽	𛄾	𛄿	𛄽	𛄾	𛄿
	80	2D70	8790	ADF0																

表2：JIS X 0213コード表-1面13区.JPG (全コード)⁵

新元号の仮定義の配布

平成30年春にリリース予定されたWindows 10機能更新プログラム (Windows 10 April 2018 Update) は、レジストリ上に新元号の仮定義を含んだ状態で出荷されていました。これは平成31年春に予定されている改元に備え、新元号の追加に伴う問題を早期に発見するための措置とされています¹⁴。この機能更新プログラムで更新されたレジストリ設定は

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Nls\Calendars\Japanese\Eras]
"1868 01 01"="明治_明_Meiji_M"
"1912 07 30"="大正_大-Taisho_T"
"1926 12 25"="昭和_昭_Showa_S"
"1989 01 08"="平成_平_Heisei_H"
"2019 05 01"="??_?_?????_?"
```

でした¹³ (図3)。

なお新元号の仮定義の配布による影響について日本マイクロソフトの新元号 (和暦) 対応に関するサポート情報のブログ (CSS Japan Era Support 2018年4月20日)¹³に以下のように記載されています。

レジストリが更新されることで想定されるコントロールやAPIへの影響は、次のようなものが考えられます。

- ① 2019年5月以降の日付を表す和暦の文字列が
ブレースホルダーに置き換わる可能性があります。
例えば、"2020/10/10"は"? ? 2年10月10日"になります。カレンダーコントロールや、.NET Framework 4以降はこの変更の影響を受けます。
- ② 2019年5月以降の日付を表す和暦の文字列を日付型に変換するAPIやメソッドは、エラーを返したり例外がスローする可能性があります。
.NET Framework 4以降はこの変更の影響を受けます。

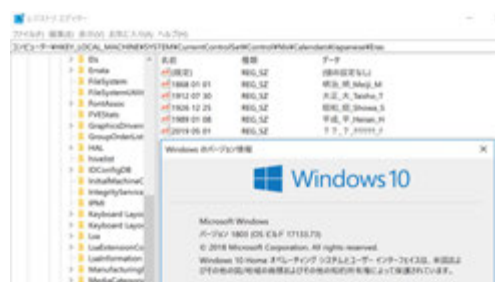


図3：レジストリに追加されていた新元号の仮定義¹⁶

- ③ 元号の一覧を返すメソッドやプロパティは5つの元号を返します。現在の4つの元号を返すことを仮定したアプリケーションなどは影響を受ける可能性があります。

その後、Microsoftに個別に本レジストリ値の追加や削除を実施されたいというフィードバックがあり、Microsoftはそれに対して手順や .reg ファイルの紹介を行っていました¹⁵。

その後、新元号の仮定義が削除されます。Microsoftは9月20日（現地時間）、「Windows 10 バージョン 1803」向け更新プログラム「KB4458469」を公開し、この更新プログラムで新元号の仮定義の削除が行われました。改元に備えた公式のサポートブログ“Japan New Era Name Support Blog”に本更新プログラムで仮定義が削除されたことが記載されています¹⁵。

なお、平成31年4月1日に新元号が発表されれば、改めて更新プログラムが配信され、新元号の定義となるレジストリ値が追加される予定です。ユーザー側でレジストリを書き換える必要はない予定です¹⁴。

MTSHとサ・タ・ハ・マ

1989年1月7日午前6時33分に昭和天皇が崩御し、今上天皇が皇位を継承しました。昭和64（1989）年はわずか一週間で終了しました。1月7日に元号法に基づき改元の政令を公布し、翌1月8日に施行され、平成に改元しました。

昭和天皇が崩御された1月7日には、ほぼ政府の想定通りに改元手続きが進められました。

午前6時33分に昭和天皇が崩御。

午前7時55分、藤森宮内庁長官が記者会見で崩御を発表すると、政府は早速、市古氏を含めた4人の有識者に、電話で正式に考案を委嘱します。

午前8時20分すぎに始まった1回目の臨時閣議では「元号選定手続」を一部改正。各界の有識者8人からなる「元号に関する懇談会」を設置し、新元号についての意見を求める手続きを追加することなどが報告されました。改元に、広く国民の意見を反映させようという判断からです。

そして、その直後に学界やマスコミなどを代表する8人の有識者には、速やかに懇談会の開催



図4：新元号「平成」を正式に決定。1989年1月7日14時36分、小渕恵三内閣官房長官が記者会見で発表した¹⁸。

が電話で伝えられました。

その後、小渕官房長官は味村内閣法制局長官と協議したうえで、「平成（へいせい）」（Heisei）、「修文（しゅうぶん）」（Shubun）、「正化（せい化）」（Seika）の3つを原案とすることを、正式に竹下登総理大臣に報告。

午後「元号に関する懇談会」、衆参両院の正副議長からの意見聴取、全閣僚会議と手続きはスムーズに進み、その日2回目の臨時閣議で改元の政令を決定しました。この間、懇談会の8人の有識者や衆参両院の正副議長は、情報漏えいを防ぐため、その場で待機し、外部との接触を禁じられました。

そして午後2時35分、小渕恵三内閣官房長官が記者会見で新元号「平成」を発表しました（図4）^{17,18}。

この午後におこなわれた「元号に関する懇談会」では当時の内閣内政審議室長であった的場順三氏が、とっさに、明治以降の元号のアルファベット頭文字（「明治」の「M」、「大正」の「T」、「昭和」の「S」）を順に並べ、「MTSの後にはHが据わりが良いでしょう」と言ったとの記録^{19,20}や委員の間から「修文」（Shubun）・「正化」（Seika）の2候補はローマ字表記の頭文字が「昭和」（Showa）と同じ「S」になるので不都合ではないかという意見が出たため、ローマ字の頭文字が「H」である「平成（へいせい）」（Heisei）に全員一致で決まったとの記録²¹があります。

さて新元号ですが、共同通信社によると「政府は来年5月1日に改める元号に関し、『明治』『大正』『昭和』『平成』の頭文字をアルファベットで表記した『M』『T』『S』『H』との重複を避ける方向で検討していることが分かった。アルファベッ

ト表記は国民生活でも幅広く利用されているため、近代の元号と混同しないように配慮する必要があると判断した。」との報道がありました²²。

またエクセルでge.m.dの日付書式を選択しますと、元号がアルファベット1文字で表記されます²³。
例えば

2009/6/1 → H21.6.1

と表記が変更され、元号「明治」「大正」「昭和」「平成」の頭文字を「M」「T」「S」「H」で表記しており、MTSHとの関係は身近なソフトウェアでも確認できます。

さて上記の平成の改元を振り返ると、「平成」「修文」「正化」の3つの原案から新元号を「平成」に選ぶにあたり、アルファベットの頭文字が重要な要素となったことが知られています。つまり、「修文」や「正化」は、アルファベットにしたときの頭文字が「S」で、元号をアルファベットの頭文字を使って表す際に「昭和」の「S」と重なってしまい、不都合が起きてしまうと指摘されたのです。

今回の改元でも、こうした考えを踏襲するのであれば、アルファベットの頭文字が「明治」の「M」、「大正」の「T」、「昭和」の「S」、「平成」の「H」と重なってしまう元号は選ばれません。つまり「サ行」「タ行」「ハ行」「マ行」ではない五十音の「行」のいずれかから始まる新元号が採用される可能性が高いと言えます¹⁸。

ところで、英語版Wikipediaの記事 List of Japanese era names²⁴の表から元号の頭文字を機械的に取り出して元号のアルファベット頭文字の

頭文字	出現頻度	頭文字	出現頻度	頭文字	出現頻度
A	5	J	22	S	18
B	15	K	64	T	31
C	11	L	0	U	0
D	3	M	8	V	0
E	27	N	5	W	1
F	0	O	7	X	0
G	15	P	0	Y	2
H	11	Q	0	Z	0
I	0	R	3		

表3: 元号のアルファベット頭文字の出現頻度²⁵
大化(Taika) 645年から平成(Heisei) 1989年まで
南北両朝の元号を含む

出現頻度が調べられています(表3)。それによりまずと頭文字Kが64回、Tが31回、Eが27回の順の出現頻度でした。ただしこの表は元号をアルファベット表記した際の頭文字の傾向という以外に特に意義はありません²⁵。

文字数

元号法²⁶は昭和54(1979)年6月6日に第1次大平内閣の時に第87回国会で成立、同月12日に公布・即日施行(附則第1項)されました。

この元号法には

本則は次の2項をもって構成される。第2項は一世一元の制と呼ばれる。附則も2項あり。

第1項: 元号は、政令で定める。

第2項: 元号は、皇位の継承があった場合に限り改める。

附則

第1項: この法律は、公布の日から施行する。

第2項: 昭和の元号は、本則第一項の規定に基づき定められたものとする。

とあり元号の文字数の規定はありません。

しかしながら元号法の制定と共に草案された「元号選定手続きについて」という、いわば元号を決める際のガイドラインには、次の事項に留意するものと定められています^{27,28}。

(ア) 国民の理想としてふさわしいようなよい意味を持つものであること。

(イ) 漢字2字であること。

(ウ) 書きやすいこと。

(エ) 読みやすいこと。

(オ) これまでに元号又はおくり名として用いられたものでないこと。

(カ) 俗用されているものでないこと。

上記には「漢字2字であること。」とありますので漢字1文字と漢字3文字以上は不可ということになります。

ただし過去には漢字4文字の元号が使用されており、749年から770年にかけてはこの4文字の元号が5回ありました。**天平感宝**(てんぴょうかんぼう、749年5月4日-749年8月19日)、**天平勝宝**(てんぴょうしょうほう、749年8月19日-757年9月6日)、**天平宝字**(てんぴょうほうじ、757年9月6日-765年2月1日)、**天平神護**(てんぴょうじんご、765年2月1日-767年9月13日)、**神護景雲**(じんごけいうん、767年9月13日-770年10月23日)です。

上記を踏まえ、新元号用の合字のUnicode

「U+32FF」は2バイト文字である漢字2文字を予想して確保され、Microsoftのレジストリも同様に漢字2文字を予想しています。

Unicodeにおける日本の元号の開始日・終了日の記載が正しくない？

Unicode Standardにおける日本の元号の開始日・終了日の記載（表4）²⁹が正しくないという指摘があります。

元号「平成」を見てみますと、昭和64（1989）年1月7日に昭和天皇が崩御して、皇太子明仁親王（今上天皇）が即位し、これを受け、元号法に基づき昭和64（1989）年1月7日に元号法に基づき改元の政令がだされ、翌日に「平成元年1月8日」と改元がなされました。

上記からすると、平成の始まりは1989年1月8日です。しかしUnicodeでは1月7日という記載です。

さらに他の元号を見てみますと

昭和の始まりの日は、1926年12月25日ですが、Unicodeでは12月24日と記載され、大正の始まりの日は、1912年7月30日ですが、Unicodeでは7月29日と記載されています。いずれも1日の差があります。ユニコードコンソーシアム（The Unicode Consortium）の本部³⁰はアメリカのカリフォルニア州にありますので太平洋標準時を基準というわけでもないですが、不思議な現象です³¹。

さらに、不思議なのは、明治の始まりです。明治の改元の詔書が出されたのは旧暦慶応4年9月8日（新暦1868年10月23日）で、旧暦慶応4年1月1日（新暦1868年1月25日）に遡って明治元年1月1日とすると定めています。明治元年の改元は改元の詔書の渙発の日付で見ても、年初に遡及して（=1月1日にさかのぼって）改元となった日付で見ても、また旧暦・新暦のいずれで見ても、1867年に関わっていません。ところがUnicodeでは明治の始まりは1867年となっています。これもまた不

思議な現象です³¹。

修正案（表5）が示されていましたが、2017年6月20日に制定されたバージョンUnicode 10.0.0では反映されなかったようです²⁹。

1912年7月30日と1926年12月25日

ソフトウェアやコンピュータ用文献での明治以後の元号の境界³²（表6）を見てみます。

Unicodeでの元号の境界については明治・大正・昭和の開始日・終了日の記載と平成の開始日（表4）で述べたとおり正しくないと思われるのでUnicodeを除いて述べたいと思います。

まず元号ごとに見てみます。昭和天皇が崩御されたのは、昭和64（1989）年1月7日で、元号の平成は翌日の1989年1月8日に施行されました。昭和は64（1989）年1月7日までで、平成の初日は1989年1月8日で、Unicodeを除いて記載された全てのソフトウェアおよびコンピュータ用文献で異同はありません（表6）。

次に、大正初日についてはどうでしょうか。大正初日は1912年7月30日と1912年7月31日としているものがあります（Unicodeを除く）（表6）。いずれが正しいのでしょうか。明治は45年（1912）7月30日までで、大正は1912年（大正元年）7月30日からとなっています。それではこの1912年7月30日は明治なのでしょうか。大正なのでしょうか。

明治45（1912）年7月30日午前0時43分、明治天皇が崩御され、皇太子嘉仁親王（のちの大正天皇）が踐祚されたため、

朕菲徳ヲ以テ大統ヲ承ケ祖宗ノ靈ニ誥ケテ萬機ノ政ヲ行フ茲ニ
先帝ノ定制ニ遵ヒ明治四十五年七月三十日以後ヲ
改メテ大正元年ト爲ス主者施行セヨ

御 名 御 璽

明治四十五年七月三十日

Table 22-8. Japanese Era Names

Code Point	Name	Dates
U+337B	SQUARE ERA NAME HEISEI	1989-01-07 to present day
U+337C	SQUARE ERA NAME SYOUWA	1926-12-24 to 1989-01-06
U+337D	SQUARE ERA NAME TAISYOU	1912-07-29 to 1926-12-23
U+337E	SQUARE ERA NAME MEIZI	1867 to 1912-07-28

U+337B square era name heisei 1989-01-07 to present day
U+337C square era name syouwa 1926-12-24 to 1989-01-06
U+337D square era name taisyou 1912-07-29 to 1926-12-23
U+337E square era name meizi 1867 to 1912-07-28

◀ 表 4 : Japanese Era Names²⁹

▼ 表 5 : Unicodeにおける日本の元号の開始日・終了日の修正案²⁹
左が現状、右が正しいと考えられる定義です。

U+337B square era name heisei 1989-01-08 to present day
U+337C square era name syouwa 1926-12-25 to 1989-01-07
U+337D square era name taisyou 1912-07-30 to 1926-12-24
U+337E square era name meizi 1868 to 1912-07-29

とする改元の詔書（図5、図6）³³を公布、即日施行して、明治45年7月30日は大正元年7月30日となりました。

それでは、1912年7月30日は大正元年7月30日であって、明治45年7月30日ではないのかというと、そんなことは有りません。現に、明治45年7月30日と書かれた公文書が有ります。その公文書の例が、「大正改元の詔書」です。明治45年7月30日以後を大正元年と言うことです。日付の箇所にはしっかりと、「明治四十五年七月三十日」と書かれています。考えてみれば、この詔書が出されて初めて「大正」という元号が誕生するわけですから、この詔書が書かれた時代は当然大正で有るはずがありません。よって、「実際にあった日付」としては「明治45年7月30日」はあったと言うことになります^{34,35}。

この元号の変わり目の考え方と根拠を略本雑記³⁶により以下に記載いたします。

[1]改元日の午前0時に遡って新元号が適用されるべきである（午前0時説）

大正元年官房第1420号海軍省文書、昭和2年秘第29号司法省刑事局長通牒が、即位に伴う大赦令の解釈について、午前0時説を採用していた可能性があること

昭和42年7月3・4日福岡連合戸籍住民登録事務協議会決議が、同じく戸籍事務について、午前0時説を採用していたこと

[2]新帝の即位時で区切って新元号が適用されるべきである（新帝即位時説）

大正元年内閣送第30号内閣書記官長回答が、国定教科書の記載について、新帝即位時説を採用していたこと³⁷

[3]改元詔書発布の瞬間から新元号が使用されるべきである（詔書発布時説）

大正元年9月25日官図第61号文部省図書局照会が、国定教科書の記載について、乙説で詔書発布時説を採用していたこと³⁸

[4]改元日の翌日から新元号が使用されるべきである（翌日説）

大正元年民事第62号司法省民事局長通牒が、司法行政事務に関する文書について、翌日説を採用していたこと

[5]改元日は新旧いずれの元号が使用されても正式である（改元日併用説）

昭和39年9月17・18日高知地方法務局管内戸籍住民登録事務協議会連合総会決議が、戸籍事務について、改元日併用説を採用していたこと

を挙げています^{35,39}。

さらに略本雑記⁴⁰では大正、昭和改元については、改元詔書の文言を根拠に午前0時説をとってしまえば、政令施行日（改元日）の午前0時から適用される平成改元とあわせ、統一した取り扱いをとることができるとしています。その一方で大正以降の改元が「一世一元の制」が前提であるので、新帝即位時説は一世一元の制という理念的な正当性を有し、何より、大正は、大正天皇の治世、昭和は、昭和天皇の治世という結論が、非常に細部まできれいに整って申し分がないとする一方で、時差の問題に言及しています。大正改元当時、八重山列島・宮古列島と日本統治下の台湾・澎湖諸島は明治29（1896）年から昭和12（1937）年まで西部標準時が運用されており、中央標準時と1時間の時差を有していました。大正天皇の践祚は中央標準時で1912年7月30日午前0時43分ですから、西部標準時の地域では、前日の1912年7月29日午後11時43分（西部標準時）が新帝即位の時刻になります。すなわち西部標準時の地域では、大正元年（1912年）7月29日午後11時43分から大正が始まったこととなります。改元によって明治45年（1912年）7月30日は大正元年（1912年）7月30日となったのですから大正元年7月29日が存在することは改元詔書の文言に反するのではなかろうかと論じています⁴⁰。これらのことから、略本雑記では元号の変わり目については、諸説紛々として、確立した解釈はないというのが正当であろうと結論しています³⁹。前述のことを考えあわせると、大正初日が1912年7月30日と1912年7月31日としているものがあるのは理解できることと思われます（表6）。

昭和初日については各種文献やソフトウェアでは1926年12月25日と1926年12月26日の2通りになっています（Unicodeを除く）（表6）。

大正15年12月25日午前1時25分到大正天皇が崩御され、皇太子（摂政宮）裕仁親王（のちの昭和天皇）が践祚されたため、

朕皇祖皇宗ノ威靈ニ頼リ大統ヲ承ケ萬機ヲ
總フ茲ニ定制ニ遵ヒ元號ヲ建テ大正十五年
十二月二十五日以後ヲ改メテ昭和元年ト爲ス

御 名 御 璽

大正十五年十二月二十五日

とする改元の詔書（図7、図8）⁴¹を公布、即日施行して、大正15年12月25日は昭和元年12月25日となりました。1926年12月25日は大正15年12月25日であると同時に昭和元年12月25日でもあります⁴²。大正改元と同様の理由で昭和初日を1926年12月25日と1926年12月26日としている各種文献やソフトウェアがあるのは理解できることと思われます（表6）。

明治初日

明治初日は1868年1月1日、1868年1月25日（旧暦で1月1日）、1868年9月8日、1868年10月23日（旧暦で9月8日）と4通りの日付が各種文献やソフトウェア（Unicodeを除く）に存在しています³²（表6）。この理由は明治への改元の詔書⁴³（図9）として

太乙を体して位に登り、景命を膺けて以て元を改む。
洵に聖代の典型にして、万世の標準なり。

朕、否徳と雖も、幸に祖宗の靈に頼り、祇みて
鴻緒を承け、躬万機の政を親す。乃ち元を改めて、
海内の億兆と与に、更始一新せむと欲す。
其れ慶応四年を改めて、明治元年と為す。
今より以後、旧制を革易し、一世一元、以て永式と
為す。主者施行せよ。

明治元年九月八日

が出されたのは旧暦慶応4年9月8日（新暦1868年10月23日）のことで、旧暦慶応4年1月1日（新暦1868年1月25日）に遡って明治元年1月1日とするとされたことによります^{44,45}。改元の詔書が出された日の旧暦・新暦の2通りの日付と、「年」単位で遡及して元号を改めた日の旧暦・新暦の2通りの日付の合計4通りの日付が存在することによります（表7）。明治百年記念式典は昭和43（1968）年の10月23日に実施され⁴⁶、明治150年記念式典も平成30（2018）年の10月23日に実施されました⁴⁷。これら式典では明治初日を1868年10月23日としています。明治初日については式典では前述の状況ですが、各種文献やソフトウェアに4通りの日付が存在しています（表6）。

今回は、元号のWindowsでの対応についての概要を平成31年2月17日付で記載いたしました。

名称	明治初日	大正初日	昭和初日	平成初日	対応最終日
JIS X 0301:1992 附属書2 ⁴⁸	1868-10-23 (旧暦9月8日)	1912- 07-31	1926- 12-26	1989- 01-08	
JIS X 0301:2002 附属書1 ⁴⁸	1868-01-25 (旧暦1月1日)	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
Wikipedia ⁴⁹	1868-01-25 (旧暦1月1日)	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
Windows ⁵⁰	1868-01-01	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
.NET ⁵¹	1868-09-08	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
Ruby Date ³²	1873年/明治6年以後対応	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
EraJa ⁵²	1868-09-08	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
Erajp ⁵³	1868-09-08	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
Date::Japanese::Era::Table ⁵⁴	1868-09-08	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	2999- 12-31
Date::Japanese::Era::Table::JIS_X0301 ⁵⁴	1868-09-08	1912- 07-31	1926- 12-26	1989- 01-08	2999- 12-31
Lingua::JA::FindDates ⁵⁵	1868-01-25	1912- 07-30	1926- 12-25	1989- 01-08	
Unicode Standard ⁵⁶	1867	1912- 07-29	1926- 12-24	1989- 01-07	

表6：ソフトウェアやコンピュータ用文献での明治以後の元号の境界³²



図5：明治四十五年七月三十日以後ヲ改メテ大正元年ト為ス
・御署名原本・明治四十五年・詔書七月三十日
(御09092) 1頁³³

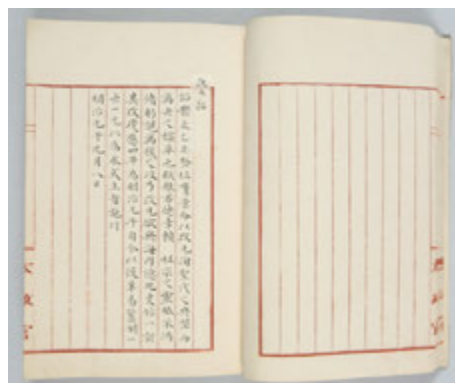


図9：明治改元の詔 2頁⁴³

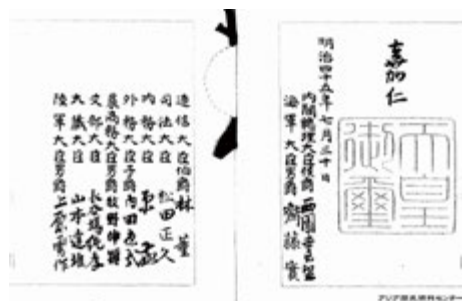


図6：明治四十五年七月三十日以後ヲ改メテ大正元年ト為ス
・御署名原本・明治四十五年・詔書七月三十日
(御09092) 2頁³³



図7：大正十五年十二月二十五日以後ヲ改メテ昭和元年ト
為ス・御署名原本・大正十五年・詔書一二月二五日
(御15628) 1頁⁴¹

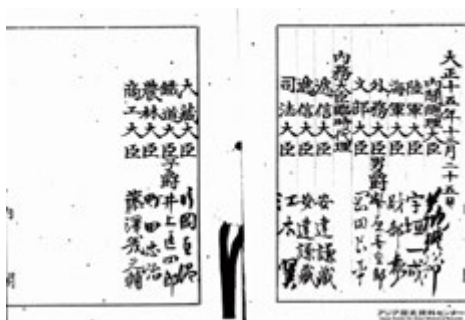


図8：大正十五年十二月二十五日以後ヲ改メテ昭和元年ト
為ス・御署名原本・大正十五年・詔書一二月二五日
(御15628) 2頁⁴¹

新暦	1868年 1月25日	改元詔書に記載された 明治の初日
旧暦	明治元年 1月1日	
新暦	1868年 10月23日	明治への改元詔書が 出された日
旧暦	慶応4年 9月8日 明治元年 9月8日	

表7：明治初日

文献⁵⁷から一部改変

明治6年に「改暦」が行われており、明治5年12月2日
(1872年12月31日) 翌日を明治6年(1873年) 1月1日とし、
旧暦の太陰太陽暦から新暦の太陽暦を採用している。
したがって明治5年12月2日以前は旧暦が使用されている。

参考文献

- ※1：元号 - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%83%E5%8F%B7>
- ※2：4月1日に新元号公表 安倍首相、年頭会見で発表
<https://www.sankei.com/politics/news/190101/pli1901010009-n1.html>
- ※3：新元号の合字 | 十一房印刷工業株式会社
<http://www.juichibo.co.jp/jpc/news/ID=2572>
- ※4：平成の次、新元号のUnicodeコードポイントは「U+32FF」
<https://news.mynavi.jp/article/20180908-690029/>
- ※5：JIS X 0213コード表(全コード)
<http://www.asahi-net.or.jp/~ax2s-kmtm/ref/jisx0213/index.html>
- ※6：重要科学技術史資料：産業技術史資料情報センター
Center of the History of Japanese Industrial Technology
2016年度登録「重要科学技術史資料(未来技術遺産)」
00221号 PC-9801-日本で最も普及した16ビットパソコン
<http://sts.kahaku.go.jp/material/2016pdf/no221.pdf>
- ※7：PCエンサイクロペディア：第2回 日本のPC史を振り返る(後編)～
PC-9801からPC互換機へ 2. Windowsの登場でPC-9801から
PC互換機へ
https://www.atmarkit.co.jp/fsys/pcencyclopedia/002jp_pc_histo-ry02/jp_pc_hist04.html
- ※8：ホームページの広場23：この文字は？
https://www.osaka-med.ac.jp/deps/omcda/report/pdf/report_41.pdf
- ※9：文字コード講座 第1回-文字コードの歴史(Unicode前史)
http://www.ndl.go.jp/jp/data/bib_newsletter/2015_4/article_05.html

- ※10: NEC特殊文字 - 通信用語の基礎知識
<https://www.wdic.org/w/WDIC/NEC特殊文字>
- ※11: JIS X 0212 - 通信用語の基礎知識
<https://www.wdic.org/w/WDIC/JIS%20X%200212>
- ※12: JIS X 0213 - 通信用語の基礎知識
<https://www.wdic.org/w/WDIC/JIS%20X%200213>
- ※13: Windows 10 機能更新プログラム (2018 Spring Release) における元号のレジストリ更新について
<https://blogs.technet.microsoft.com/jperablog/2018/04/20/rs4-registry/>
- ※14: Microsoft、新元号の仮定義を削除するパッチをリリース ～「April 2018 Update」向け
<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1144129.html>
- ※15: Windows 10 Version 1803 における新元号の仮定義の削除について
<https://blogs.technet.microsoft.com/jperablog/2018/09/21/april2018update-placeholder-deletion/>
- ※16: 日本国の新しい元号は「?」です→やっぱりやめました
<https://qiita.com/jTakasuRyuji/items/0e8eb484122734784ca2>
- ※17: 平成 - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E6%88%90%E6%8F%90%E6%A1%88%E8%80%85>
- ※18: 平成の次は? 新元号を探る
https://www3.nhk.or.jp/news/web_tokushu/2018_0207.html
- ※19: 的場順三、「新元号『平成』決定までの舞台裏」(平成29大事件の目撃者)、p.242、文藝春秋、2018年2月号、2018年2月1日発行、(株)文藝春秋
- ※20: 元号選定の舞台裏 ～キーマンが証言 | TBS NEWS【現場から、】平成の記憶
https://news.tbs.co.jp/news_sp/heisei/archive/20190215.html
- ※21: 「平成」選定の背景 頭文字 昭和と異なる「H」に:日本経済新聞
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ011979720R20C17A1TZJ000/>
- ※22: 新元号M・T・S・H除外 アルファベット表記、重複避ける
<https://this.kiji.is/408911433269183585>
- ※23: 表示形式 ユーザー定義 セルの表示形式 日付の表示形式 日付の2桁表示 時間の表示形式 数値の表示形式 千単位 万単位 数字を漢字で表示 エクセル Excel [エクセルの学校]
<http://www.excel.studio-kazu.jp/lib/e3g/e3g.html>
- ※24: List of Japanese era names - Wikipedia
https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_Japanese_era_names
- ※25: 元号の頭文字の出現頻度
<https://www.modshrink.com/2012/06/12/195413>
- ※26: 元号法 - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%83%E5%8F%B7%E6%B3%95>
- ※27: さよなら平成!今すぐ誰かに教えたい【元号トリアビ6選】4月1日新元号発表 | TABIZINE ～人生に旅心を～
<https://tabizine.jp/2019/01/07/229786/#i-7>
- ※28: 元号選定手続について - 国立公文書館 デジタルアーカイブ
<https://www.digital.archives.go.jp/DAS/contents/pdf/lossy/H11B000172000/069509831435.pdf>
- ※29: Unicodeにおける日本の元号の開始日・終了日の定義について
https://techracho.bpsinc.jp/chiba-junichi/2016_09_27/25490
- ※30: Contact Unicode
<https://www.unicode.org/contacts.html>
- ※31: Unicode Standardの元号の説明の問題は変わってなかった
<http://yanok.net/2016/07/unicode-standard-1.html>
- ※32: 立年改元
<https://wiki.suikawiki.org/n/%E7%AB%8B%E5%B9%B4%E6%94%B9%E5%85%83%34518>
- ※33: 明治四十五年七月三十日以後ヲ改メテ大正元年ト為ス・御署名原本・明治四十五年・詔書七月三十日(御09092)
https://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/listPhoto?BID=F000000000000023253&ID=&LANG=default&GID=&NO=&TYPE=JPEG&DL_TYP E=pdf&CN=1
- ※34: 日刊☆こよみのページ-1912年7月30日は、明治か大正か?
<http://koyomi.vis.ne.jp/doc/mlwa/200708020.htm>
- ※35: 元号の変わり目(1) - 略本雑誌
https://hakuriku.hatenablog.com/entry/20070716/GengoEd2_1
- ※36: 元号の変わり目(2) - 略本雑誌
https://hakuriku.hatenablog.com/entry/20070729/GengoEd2_2
- ※37: 皇位継承と改元に関する若干の覚書 - 九大コレクション - 九州大学
https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/1790495/shichinohe_1790495.pdf
- ※38: 元号の変わり目(史料編) - 略本雑誌
https://hakuriku.hatenablog.com/entry/20071001/GengoEd2_A#MOETT010925
- ※39: 元号の変わり目(6) - 略本雑誌
https://hakuriku.hatenablog.com/entry/20070930/GengoEd2_6
- ※40: 元号の変わり目(3) - 略本雑誌
https://hakuriku.hatenablog.com/entry/20070812/GengoEd2_3
- ※41: 大正十五年十二月二十五日以後ヲ改メテ昭和元年ト為ス・御署名原本・大正十五年・詔書一二月二五日(御15628)
https://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/listPhoto?BID=F000000000000009848&ID=&LANG=default&GID=&NO=&TYPE=JPEG&DL_TTYPE=pdf&CN=1
- ※42: 昭和最初の日(12.25)
<http://www.fortune.net/calen/kinenbi/12/syowa-saisyo.htm>
- ※43: 明治元年(1868)9月 | 一世一元の制となる:日本のあゆみ
<http://www.archives.go.jp/ayumi/photo.html?m=5&pm=2>
- ※44: 一世一元の詔 - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%80%E4%B8%96%E4%B8%80%E5%85%83%E3%81%AE%E8%A9%94>
- ※45: 明治 - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%98%8E%E6%B2%BB>
- ※46: 明治百年記念式典 - Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E7%99%BE%E5%B9%B4%E8%A8%98%E5%BF%B5%E5%BC%8F%E5%85%B8>
- ※47: 資料2 明治150年記念式典について 内閣府 明治150年記念式典準備室
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/dai11/siryou2.pdf>
- ※48: 「JavaSE6 和暦の昭和の改元日が違う?」(1) Java Solution - @IT
<https://www.atmarkit.co.jp/bbs/phpBB/viewtopic.php?topic=35637&forum=12>
- ※49: 元号から西暦への変換表 - Wikipedia (2015/12/9 22:49:05 版)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%83%E5%8F%B7%E3%81%8B%E3%82%89%E8%A5%BF%E6%9A%A6%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%A4%89%E6%8F%9B%E8%A1%A8>
- ※50: I'm not a Klingon(): Japanese Calendars, How do I Test Support for Additional Eras? (2009/11/12 22:13:57 版)
<http://blogs.msdn.com/shawnste/archive/2009/09/24/japanese-calendars-how-do-i-test-support-for-additional-eras.aspx>
- ※51: JapaneseCalendar Class (System.Globaliztion) (2016/1/9 23:45:01 版)
[https://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.globalization.japanesecalendar\(v=VS.100\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/system.globalization.japanesecalendar(v=VS.100).aspx)
- ※52: tomiacannondale/era_ja (2016/1/9 23:03:31 版)
https://github.com/tomiacannondale/era_ja
- ※53: erajp/converter.py at master · recruit-ntl/erajp (2016/1/9 23:38:21 版)
<https://github.com/recruit-ntl/erajp/blob/master/erajp/converter.py>
- ※54: Date::Japanese::Era - search.cpan.org (2016/1/9 23:40:11 版)
<http://search.cpan.org/dist/Date-Japanese-Era/lib/Date/Japanese/Era.pm>
- ※55: Lingua::JA::FindDates - search.cpan.org (2016/1/9 23:42:25 版)
<http://search.cpan.org/dist/Lingua-JA-FindDates/lib/Lingua/JA/FindDates.pod>
- ※56: The Unicode Standard Version 8.0 - Core Specification / Chapter 22 Symbols (2015/8/18 1:03:00 版)
<http://www.unicode.org/versions/Unicode8.0.0/ch22.pdf>
- ※57: 【Tips】和暦西暦変換処理と明治時代とJava、C#での実装について (2017/1/10追記) - Seita developer blog
<http://rey1229.hatenablog.com/entry/2016/06/15/000203>